

全国学力・学習状況調査について

泉佐野市立長坂小学校

1. 調査の目的

- 国が、義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成28年4月19日（火）

3. 調査の対象

小学校第6学年，全児童

実施児童数（ 52 人）

4. 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語及び算数。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「児童アンケート調査」という。）を実施する。

(3) 学校のとりくみに関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べて低位側にある。全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 66.0／泉佐野市 69.5／大阪府 71.3／全国 72.9）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べて低位側にある。全国と比べて上位層が少ない。また、山なりではなく凸凹が目立つ。
平均正答率（本校 41.5／泉佐野市 52.4／大阪府 55.4／全国 57.8）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

| 国語A | 特徴がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【話すこと・聞くこと】 ○目的や意図に応じて、収集した情報を関係付けながら話し合うことは、全国平均並みである。 2 全校集会で歌う歌を決めるために、どのように話し合っているのか、話し合いの説明として適切なものを選択する (78.8/79.2)</p> <p>【書くこと】 ○目的や意図に応じて、書く事柄を整理することに課題がある。 4 委員会を紹介するパンフレットを作るため、追加の取材をした理由として適切なものを選択する (61.5/78.2)</p> <p>【読むこと】 ○目的に応じて、図と表とを関係付けて読むことが概ねできている。 5 公園案内図とパンフレットにある表とを関係付けて読み、希望に合うものを選択する (88.5/93.1) ○登場人物の人物像について、複数の叙述を基にして捉えることは、全国平均並みである。 6 『おばあさんの飛行機』を読んで、登場人物の人物像を説明するために、根拠となる表現として適切なものを選択する (63.5/63.9)</p> | <p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 ○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことは、全体的に健闘している。 1ー2 お年玉を貯金する (100.0/98.5)</p> <p>○学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くことに課題がある。 1ニ1 アサガオのたねをまく (76.9/87.5) 1ニ3 先生にそうだんする (50.0/64.2)</p> <p>○用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列などを決めることに課題がある。 7 アイ毛筆で書いた(一)と(二)を書き直した際、注意した点として適切なものを選択する(永久) (65.4/81.2)</p> <p>○ひらがなで表記されたものをローマ字で書くことは出題された言葉によって正答率に差がある。 8ー1 書く(りんご)は、全国を上回っている (55.8/53.2) 8ー2 書く(あさって) (36.5/41.8)</p> |

| 国語B | 特徴がみられた設問 |
|--|--|
| <p>【書くこと】 ○話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って質問することに課題がある。 1 スーパーマーケットの店長へのインタビューメモを基にして、話の展開に沿った質問を書く (34.6/50.4) ○目的や意図に応じて、グラフを基に自分の考えを書くことに課題がある。 2ニ(1)「早ね早起き」活動の課題について、〈図2〉の結果を基に書く (36.5/51.4)</p> | <p>【読むこと】 ○目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読んだり、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすることに課題がある。 3ー「パン職人」に関する本を選んだ目的の説明として適切なものを選択する (51.9/77.2) 3ニ「パン職人」について、紹介したい内容をまとめて書く (32.7/52.9)</p> |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|---|------|------|-------------|------|
| 国語の勉強は好きですか。 | 37.7 | 58.3 | ○ | 20.6 |
| 国語の勉強は大切だと思いますか。 | 83.0 | 91.3 | ◇ | 8.3 |
| 国語の授業の内容はよく分かりますか。 | 68.0 | 80.7 | ○ | 12.7 |
| 読書は好きですか。 | 68.0 | 74.6 | ◇ | 6.6 |
| 国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。 | 79.3 | 89.2 | ◇ | 9.9 |
| 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり書いたりしていますか。 | 43.4 | 67.0 | ○ | 23.6 |
| 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。 | 52.9 | 62.3 | ◇ | 9.4 |
| 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけて書いていますか。 | 64.1 | 74.0 | ◇ | 9.9 |
| 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか。 | 66.0 | 78.1 | ○ | 12.1 |
| 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか。「すべての書く問題で最後まで努力した」割合 | 62.3 | 75.1 | ○ | 12.8 |
| A問題の解答時間は十分でしたか。 （「余った」「ちょうどよい」の合計） | 73.6 | 85.2 | ○ | 11.6 |
| B問題の解答時間は十分でしたか。 （「余った」「ちょうどよい」の合計） | 79.2 | 71.6 | ◇ | 7.6 |

*上記の数字は4択「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を合わせたもの

○「国語の勉強は大切だ」と回答している児童は8割を超え、「国語の授業の内容は分かる」と回答している児童も7割近くいるにも関わらず、「国語の勉強は好きだ」と回答している児童は4割に満たない。授業改善の工夫が求められる。

○理由を考えて文章を書くことはできていると感じている児童は6割を超えるが、資料をまとめて自分の意見を書いたり、話の組み立てを工夫して発表したりすることには約半数ができていないと感じている。自分の意見をまとめて書くことに課題があると思われる。

○難しいと感じるとすぐ課題から逃げる、あきらめる傾向が強い。これは、「すべての書く問題で最後まで努力した」と回答した児童は、全国と比べると12.8%低いことから明らかである。また、同時に解答時間は十分だったかと答えた児童が全国より7%を超えており、早々に問題を解くことをあきらめたと考えられる。達成感や充実感のある授業形態の工夫が必要である。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べて低位側にある。全国と比べて上位層が少ない。
平均正答率（本校 66.6／泉佐野市 75.0／大阪府 76.9／全国 77.6）

「B区分問題」

- ・平均正答数の全体的な分布状況は、全国に比べ低位側（5問以下）にふくらみ、上位層が少ない。
平均正答率（本校 33.3／泉佐野市 44.0／大阪府 45.8／全国 47.2）

2. 学力状況調査より（本校正答率／全国正答率）

| 算数A | 特徴がみられた設問 | |
|---|---|--|
| <p>【数と計算】 ○繰り下がりのある減法の計算をすることが概ねできている。 2（1）$905 - 8$を計算する（82.7/90.9） ○乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をし、約分することが概ねできている。 2（4）$(2/9) \times 3$を計算する（84.6/87.0） ○不等号を理解することが概ねできている。 3（1）二つの数の大小関係を表す不等号を書く（94.2/96.7）</p> <p>【図形】 ○図形の構成要素に着目して、図形を構成することに課題がある。 6 4枚の三角定規でつくることのできる形を選ぶ（61.5/79.6） ○直方体における面と面の位置関係を理解することに課題がある。 7 直方体において、示された面に垂直な面を選ぶ（57.7/78.0）</p> | <p>【数量関係】 ○全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味について理解することに課題がある。 8 テープ全体の長さを基にしたときの赤い部分の長さの割合が、一番大きいものを選ぶ（57.7/74.4） ○1を超える割合を百分率で表す場面において、基準量と比較量の関係を理解することに課題がある。 9（2）定員と乗っている人数の割合を、百分率を用いた図に表すとき、当てはまる数値の組み合わせを書く（38.5/50.9）</p> | |

| 算数B | 特徴がみられた設問 | |
|---|---|--|
| <p>【数と計算】 ○縦にかくことのできる正方形の数を求め、24個の正方形をかくことのできる理由を記述することに課題がある。 3（2）縦39cm、横54cmの長方形の厚紙から、1辺9cmの正方形を24個切り取ることができるわけを書く（19.2/38.4）</p> <p>【量と測定】 ○示された説明を解釈し、用いられている考えを別の場面に適用して、その説明を記述することに課題がある。 1（2）正方形の縦の長さを2cm短くし、横の長さを2cm長くすると面積が4cm²小さくなることの説明を書く（26.9/45.2）</p> <p>【数量関係】の問題に課題がある。 ○ハードルの数とインターバルの数の関係を式に表し、4台目のハードルの位置を求める問題。 2（1）ハードルとハードルの間が5mのコースのスタート地点から4台目のハードルを、巻き尺の何mのところのところに置けばよいか書く（34.6/56.2）</p> | <p>【数学的な考え方】 ○単位量当たりの大きさを求めるために、ほかに必要な情報を判断し、特定することに課題がある。 4（1）学校ごとの1人当たりの本の貸出冊数を求めるために、学校ごとの貸出冊数の合計のほかに調べる必要のある事柄を選ぶ（34.6/48.3） ○グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を記述することに課題がある。 4（3）A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く（15.4/24.9） ○図形を構成する角の大きさを基に、四角形を並べてできる形を判断することに課題がある。 5（2）示された四角形を並べてできる図形を選ぶ（25.0/25.4）</p> <p>* 全国平均正答率が2割を切っている問題は省いています。</p> | |

3. 学習状況調査より

| 質 問 項 目 | 本校 | 全国 | 10%○ 5%◇ | 差 |
|--|------|------|-------------|------|
| 算数の勉強は好きですか。 | 58.5 | 66.0 | ◇ | 7.5 |
| 算数の勉強は大切だと思いますか。 | 83.0 | 91.9 | ◇ | 8.9 |
| 算数の授業の内容はよく分かりますか。 | 81.1 | 80.2 | | 0.9 |
| 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか。 | 66.1 | 75.8 | ◇ | 9.7 |
| 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか。 | 71.7 | 81.0 | ◇ | 9.3 |
| 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。 | 52.8 | 67.4 | ○ | 14.6 |
| 算数の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役立つと思いますか。 | 81.2 | 89.9 | ◇ | 8.7 |
| 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。 | 71.7 | 80.5 | ◇ | 8.8 |
| 算数の授業で公式やきまりを習うと、そのわけを理解するようにしていますか。 | 71.7 | 80.8 | ◇ | 9.1 |
| 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるように、ノートに書いていますか。 | 75.5 | 84.8 | ◇ | 9.3 |
| 今回の問題で言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、どのように解答しましたか「すべての書く問題で最後まで努力した」割合 | 58.5 | 72.0 | ○ | 13.5 |
| A問題の解答時間は十分でしたか。 (「余った」「ちょうどよい」の合計) | 73.6 | 86.3 | ○ | 12.7 |
| B問題の解答時間は十分でしたか。 (「余った」「ちょうどよい」の合計) | 71.7 | 57.3 | ○ | 14.4 |

*上記の数字は4択「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」「どちらかというにあてはまらない」「あてはまらない」のうち、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合を合わせたもの

○「算数の勉強は大切だ」と回答している児童や「算数の授業の内容はよく分かる」と回答している児童がそれぞれ8割を超えているのは、少人数指導の効果によると思われる。

○算数B問題は、全体的に全国平均より大きく下回った。

○考え方を書く問題になると無答率が高くなる傾向にある。

○学習意欲が低く、粘り強く問題にとりくむ姿勢も低い。最後まで努力した児童は全国に比べ13.5%低い。

平成28年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

下記の表には全国と比較して原則5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を挙げている。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きく特徴のある項目

| 設問内容種別 | 本校の状況 | 本校 < 本校回答率 / 全国回答率 > |
|---------|--|---|
| 家庭・地域生活 | <ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣に課題がある。 ○TVやケータイ/スマホの使用時間が長い。 ○読書をするのが少ない。 ○地域や社会に対する関心が低い。 ○自尊感情が低い。 | <ul style="list-style-type: none"> ○朝食を毎日食べている。 <88.7/95.5> ○毎日同じくらいの時間に寝ている。 <71.7/80.1> ○毎日同じ時刻に起きている。 <81.1/90.8> ○1日にどれくらいの時間、テレビゲーム<コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む>をするか。 <4時間以上 20.8/8.2> ○1日にどれくらいTVやビデオ・DVDを見るか。 <4時間以上 11.3/3.0> ○一日あたりどれくらい読書しますか。 <10分より少ない・全くしない 47.1/36.5> ○住んでいる地域の行事に参加する。 <39.6/67.9> ○地域や社会の問題や出来事に関心がある。 <58.5/70.6> ○自分には、よいところがあると思う。 <58.5/76.3> ○家の人<兄弟姉妹を除く>と学校での出来事について話をする。 <56.6/79.2> |
| 家庭学習 | <ul style="list-style-type: none"> ○宿題はほぼしている。 ○家庭学習<宿題を除く>のとりくみが弱い。 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分で計画をたてて勉強する。 <24.5/62.2> ○家で、学校の宿題をしている。 <90.5/97.0> ○学校の授業の予習をする。 <20.7/43.3> ○学校の授業の復習をする。 <24.5/55.2> |
| 学校生活・学習 | <ul style="list-style-type: none"> ○授業規律を意識して、授業等に臨んでいる。 ○「総合的な学習」のとりくみが弱い。 ○授業における目標設定や振り返りの活動はできている。 ○自分の考えを文章にまとめることに苦手意識がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○国語の授業の内容はよく分かる。 <68.0/80.7> ○算数の授業の内容はよく分かる。 <81.1/80.2> ○きまりなど話し合っていて決めている。 <73.6/81.8> ○総合的な学習で、自分で課題を立て情報収集、整理、発表するなどの活動に取り組んでいる。 <26.4/65.4> ○5年生までの授業では授業のはじめに目標が示されていた。 <81.2/87.6> ○5年生までの授業では最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた。 <75.5/76.1> ○5年生までに受けた授業で扱うノートには目標とまとめを書いていた。 <86.8/87.9> ○400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい。 <69.8/60.4> ○考えを他の人に説明したり文章に書いたりすることは難しい。 <58.4/54.8> |

本校のとりくみ

◎これまでのとりくみ

1. 基礎基本の学力の定着

◇長坂タイム〈始業前15分〉のとりくみ

国語〈漢字〉, 算数〈計算〉

◇学習規律の確立

「長坂小! みんなの学習ルール」「聞きとり名人あいうえお」「話し方名人かきくけこ」

「聴く, 話す」など適切な学習態度・行動を促す。

◇復習テストの実施〈4月, 2月〉

前学年までの既習事項を確認することで児童の実態把握をし, つまづきやすい単元を発見して, 授業改善を行う。

◇ノート指導

見やすいノートの規準を示し, ていねいにノートを書く習慣をつける。

◇わくわく学習会

週1回放課後学習会〈希望参加〉を設定。集中して学習する姿勢を身につけ, 算数の基礎基本問題を解き, 自分の課題を克服していく。

2. TT〈チームティーチング〉, 少人数指導・少人数習熟度別指導

◇学習内容によって, 学びの形態を変え, よりわかりやすい授業, 個別課題に対応する授業を行う。

3. 宿題・家庭学習の徹底

◇家庭学習の習慣化を促す「家庭学習のてびき」

家庭での基本的な学習態度を示し, 毎学期「宿題ばっちりウイーク」を設定し, 家庭でも評価してもらう。

4. 指導力の向上

◇「聴く, 話す」の力を高めるために〈国語科の授業研究を通して〉

基礎基本の学力をもとに, 実際に課題を解決していくてだて〈活用力〉を高めていくため, 「人の話を主体的に聴く」「自分の意見を人にわかるように話す」といった力をつける言語活動を研究・実践する。

◇ユニバーサルデザインを意識した授業づくりのスキルを高める

上記の研究と並行して教室環境の整備, 授業のめあての明示とふりかえりの徹底, 実物投影機等のICTの活用, 板書の工夫, 聞きやすい説明の方法, 意欲を高める評価方法など, 実践交流を行い, 研究通信により周知する。

◇学力向上アドバイザーの配置

子どもの学習相談や課題のフォロー, 職員の授業力アップに資する人材の活用により, 学力課題に対する組織的とりくみ支援と個別支援をすすめる。

◇算数サポーターの配置

授業中の個々のつまづきに適宜対応できる個別支援をすすめる人材の活用。

5. 学級集団づくりと生徒指導

◇子どもたちの人間関係を把握し, 安心して自分が出せ, とともに学習していく学級経営の研究と実践を行うとともに, 一つひとつの生徒指導上の事案についてケース会議等, 学校総力をあげて心の安定を図る。

◎これからのとりくみ

今回の調査結果を分析して、これまでの本校の課題を改善するためには、更に、これまでのとりくみを継続していく必要があることが明らかになった。心の安定を図り、「わかる授業」づくり・授業のスタンダードを再構築し、それぞれのとりくみがより有機的に結びつき実践できるようにする。

基本方針と具体策

「あなたも わたしも 大切な ながさかっこ
聴き合って、話し合って GO！」 を合い言葉に
個人や集団の心の安定を図り、主体的な学習をすすめる

◇自他を大切に心して心の安定を図るとりくみ

1. 相手を尊重する気持ちで行動します
情動教育をすすめ、心を温めることばや行動を増やします
学習や生活のルールを守って、自分も相手も大切にします
人のよさを発見して伝え合い、お互いのよさに気づきます
2. トラブルは子どもたちが主体的に解決していきます
事実や気持ちを可視化して示し、ふりかえることで自分がわかる体験をさせます
感情をコントロールし、相手を攻撃せずに、話し合って解決する方法を身につけます
3. 私たちは子どもに尊敬の思いを込めます
子どもの生活を知り、共感することから始めます
人権の大切さをきちんと子どもに伝え、不合理には立ち止まり、共に考えます
報告・連絡・相談を徹底し、早期発見に努め、全教員で共有しとりくみます
4. 「大切に」を学校の文化として根付かせます
学んだことやとりくんだことを表現し、積極的にアピールします
肯定的な言動を積極的に評価し、習慣づけます

◇言語活動を充実させ、主体的な学習をすすめるとりくみ

1. 子どもと先生、子ども同士、いっしょに授業をつくります
自分の気持ちや考えをもって相手に働きかける能動的な学習をすすめます
授業の目的、学ぶ動機づけを示します
2. 「聴く」力を身につけ、主体的な話し合いができるようにします
目的をもって、集中して話を聴きます
相手が話しやすいように、共感して聴きます
3. 話し合うことで力は増し、自分をふりかえり高めます
正確にわかりやすく伝えるスキルを身につけます
話し合えば、新たな世界が広がることを経験します
ペアやグループなど、多様な聴き合い、話し合いの活動をします
自分をふりかえり、これからの意識づけ、目標をもちます
4. 表現と交流のために、ホワイトボードを活用します
ビジュアルな交流で相互理解を深めます
失敗を恐れず、表現することに積極的になります
ホワイトボードミーティングで建設的な話し合いをします
効果的な活用方法を研究します
5. チームワークを大切にします
自分の役割を自覚し、組織的な活動の大切さを実感します